

A vibrant, stylized illustration of a rural landscape. In the foreground, a blue river flows from the bottom right towards the center, with two fish visible in the water. A small dam or bridge crosses the river. To the left, there are green rice paddies and a white house with a red roof. In the background, a large green hill is covered in dense trees, and a white swan with a red beak is flying in the sky. The overall scene is bright and peaceful.

これからの土木 こころの復興

国東でモデル現場をやってみたい

平成27年 1月17日

小原文男

土木を顧みて

- ① 過去を振り返ってコイシをみる。
道路改良工事測量から大型ダム
- ② 仕事と人生を一体化させるべき考え方を進めていくと、土木はどうあるべきか、見えてくる
国東半島で、**土・水・木**の本質を土木の力で創っていきたい。
阪神淡路大地震から二十年

過去を振り返って

- 2004年(平成16年) 3月 (建設機械化協会にて)3D開発による効果
- 2004年(平成16年) 9月 (国総研にて)コイシが考える将来土木
- 2006年(平成18年) 5月 (熊本大学にて) 私が創りたかった会社
- 2011年(平成23年) 2月 (コイシにて) 理にかなったCADを考える
- 2012年(平成24年)12月 (国交省にて) 国家公務員にカツを
(測量技術の変遷)
- 2013年(平成25年)12月 (国交省にて) 工事測量の進化
(末端で働く目線で土木を考える)
- 25年を振り返って、考え方を伝えだしていく。

国東半島でみらいの土木へと①

- 国土は建設業が守っていく思考でないとなりに進まない。

- 一里 × 一里に建設業一社を設置

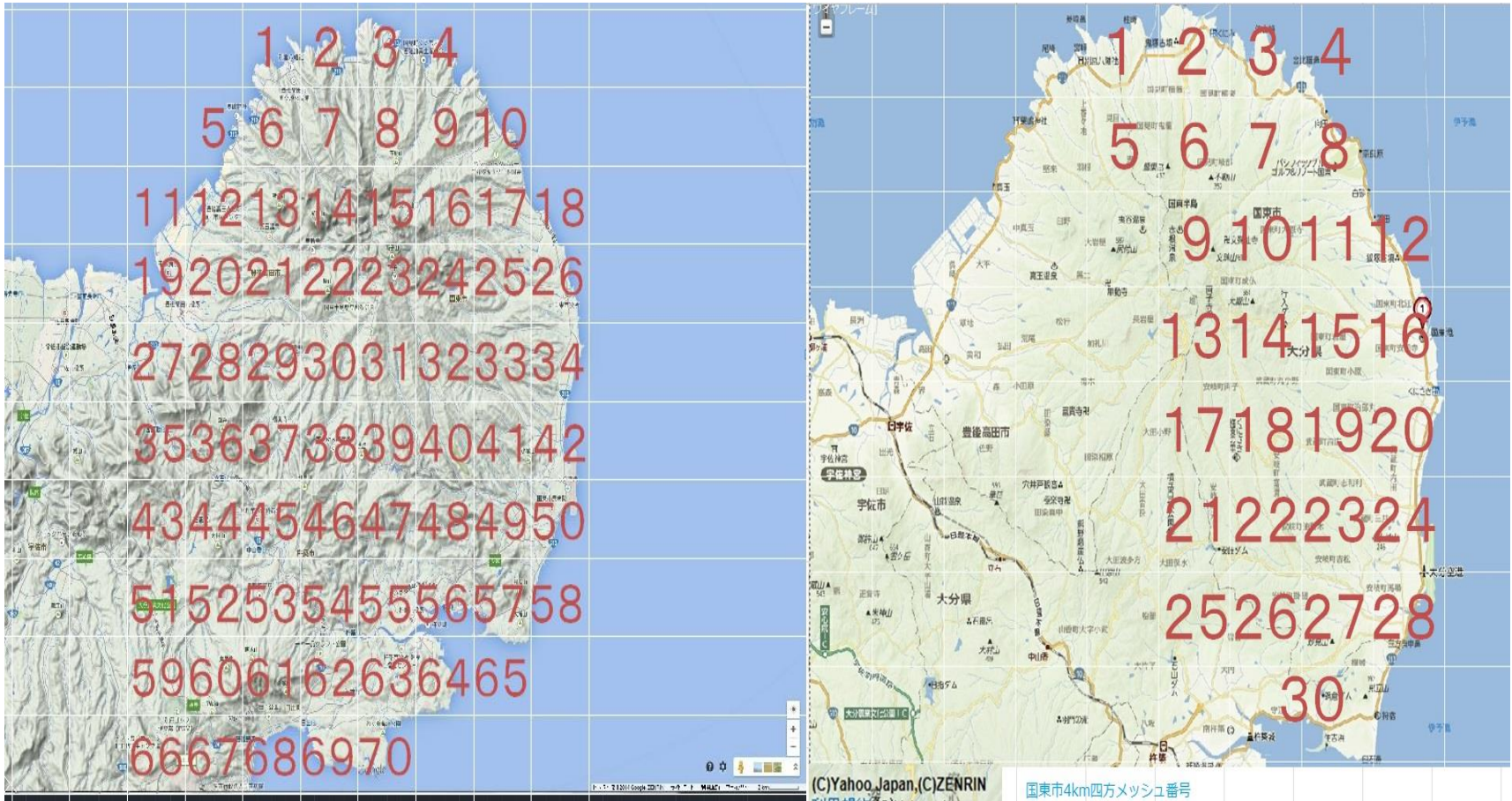
ここに地域を考える優秀な人が必要

37. 8万Km² ÷ 16km² ≒ 23, 625社

国東市だけで、30社必要

この思考が原点になる

国東半島メッシュ図



これからの土木の視点

- ~循環型土木~

自然のいとなみをかえりみて

どんなに便利なものがあっても

汚い空気、にごった水、かすんだ青空に

なっては意味がない

自然の驚異と遭遇した人(台風・地震・・・)

- 頭の良い人(自然のありがたみを感じ取っている人)をここに集結させる。
- 頭の良い人とは、大量生産の大量消費に違和感を持っていた人たち。
- 今の原発の位置、ダムの位置に違和感を持っている人たち
- 最高の魚釣りの場所に原発があり
- 最高の秘境にダムがある。
- 位置をずらす考えの人は、当時はいなかったのか？今だから言えるものなのか？

土木の関わり方

- 今までには、圃場整備とため池と砂防と林道が主だったかもしれないが、
- 私の得意な圃場整備も大量生産の一つだった。
- これからは、地球の仕組みを学んで土木をやっていくべき。
- 肝心なのが水 河川工事をどの視点に置くか
- 人間で言うと、血液・血管になる気がする。

土木の力で

- ① 山に広葉樹
海に針葉樹とファルカーター（イカダ・タンカー）
- ② 護岸工から、大事なもの（地球の養分）を運ぶ
運河の役割になる土木工事
- ③ 水田に関しては、美味しいお米を作る土づくり
として、河川の氾濫も考える。
- ④ 川に魚が戻り、海も同様である。

江戸時代の地形

- 西洋を取り入れてなかった時代の地形は、日本人の発想の原点がそこにあるとみて。
- そこも参考にして、新たに私たち平成の時代で、考えていくべきと思っている。
- そこに価値観を置いた土木会社が生まれることが、日本の国益となり、世界の先駆者となりみんなが憧れる会社になっていくと思っている。

モデル現場としての国東

- 国東にコイシ土木自然農業塾
- 「水を征す」を、水害・災害でなく、水の本来の働きを土木で創っていく。
- 国東にみらいの設計を入れるために、国東半島をレーザースキャナで計測をする。

国東高校前 坂周辺地形



航空レーザー地形



国土地理院5mメッシュ地形

国東高校前 周辺地形



航空レーザー地形

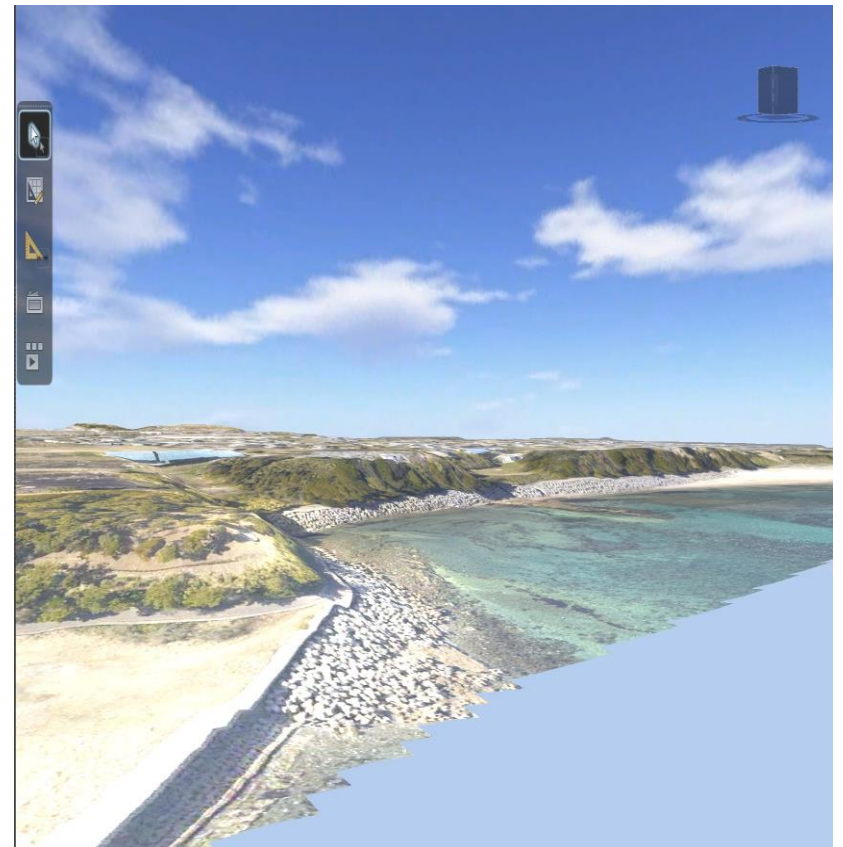


国土地理院5mメッシュ地形

国東高校 海周辺地形



航空レーザー地形

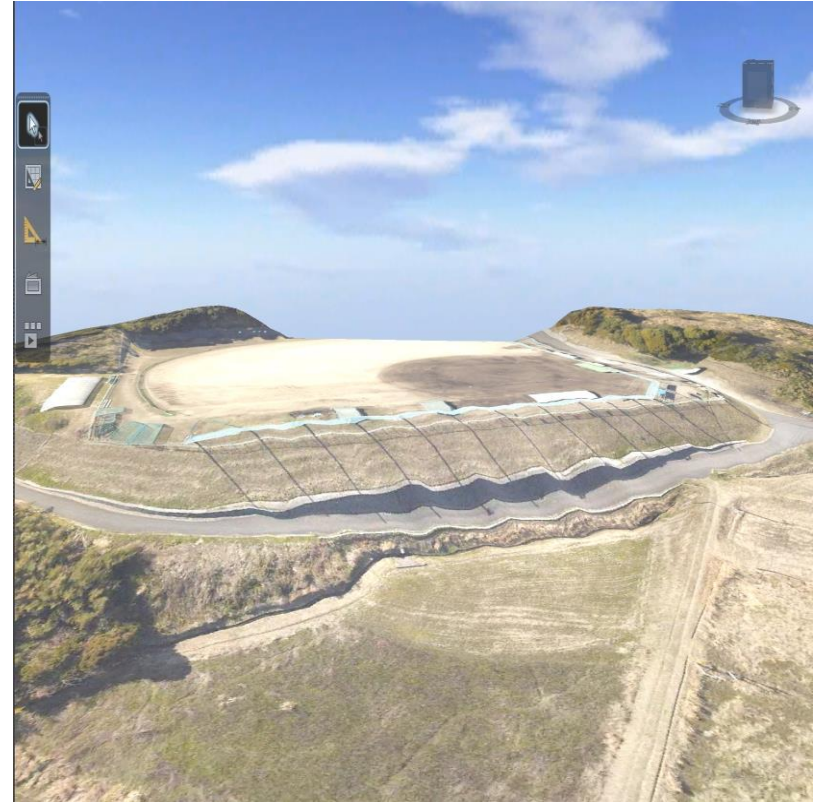


国土地理院5mメッシュ地形

国東高校 グラウンド周辺地形



航空レーザー地形



国土地理院5mメッシュ地形

世界農業遺産

- 天境と人境がかみ合っただけの世界遺産だと思いが、これだけではダメだ。

ここに土木の智慧がいる。

三浦梅園さんが言う人境は、土木になる。

ため池は、地下掘削に切り替え、温度を冷水として保つ。

砂は、赤土を客土とし、10年で創っていく。

私はこのようなところに、価値ある税金を使うべきと思っている。

悲しかったこと

- 組織も大切だが、組織でなく、個の力に委ねていくときも絶対ある。
- 3. 11の翌日、大分からも地場の建設業が数社行った。
- しかし、現実には、待て！ 勝手に動くな！
- ここが今の日本をダメにしている典型的なところとみている。
- 中央にいくと埋もれてしまう。

私の好きな人

- ①三浦梅園 (1723～1789)
- ②麻田剛立 (1734～1799)
- ③伊能忠敬 (1745～1818)
- ④上杉鷹山 (1751～1822)
- ⑤大原幽学 (1797～1858)
- ⑥横井小楠 (1809～1869)
- ⑦小松帯刀 (1835～1870)

勉強していきたい。

阪神淡路大地震から20年

- 街は復興したが、こころの復興に土木が入っていけなかった。
- 今からは、土木の力で、循環型土木を目指すことが、こころの復興を取り戻すと確信している。

最後に

- 私たち**土木の人間**が、現場監督が、所長が、作業員さんが、型枠大工さんが、鉄筋工さんが、重機オペさんが、良い意味で現場の末端で働いているから、現場はどのようにでもなるはずだ。私たちがそこで仕事をしているのだから。これほど未来を握っている仕事はない。遣り甲斐ある仕事として、導いていくのが、**土木で働いている人間**なんだ。